

令和4年度 授業改善推進プラン

1 本校における課題

国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○3年生以上の児童、漢字の読み書き及び活用について</li> <li>○全学年で共通していること、文章を書くこと 低学年、文中で助詞や促音を正しく書くこと、高学年、言葉の適切な使い方</li> <li>○4年生以上、「説明文の読み取り」</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○資料から問われたことを読み取る力、読み取ったことを活用したり、特色・工夫・問題点等について、根拠を持って考え表現したりすること</li> <li>○3年生、方位についての理解</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>○文章題において、数学的な見方・考え方を使って解決すること</li> <li>○数と計算、図形、データの活用に関する知識・技能</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○細かく観察したり、友達から学んだりする力</li> <li>○根拠のある予想や仮説を立て、友達と伝え合う力</li> <li>○観察・実験などに関する基本的な技能、実験器具の使い方</li> </ul>

2 各教科の具体的な授業改善

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>①漢字を正しく読み書きし、活用できる。</li> <li>②目的や意図に応じて文章を書く。</li> <li>③段落相互の関係に着目し、叙述をもとに要旨をとらえる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①新出漢字の学習を定期的に行い、書き順・熟語・例文等をセットで覚える工夫をする。辞書を用い意味や使い分けを理解する機会を設ける。定期的に漢字テストを実施し定着率を確かめる。</li> <li>②各内容を箇条書きにして整理し、文書構成を考える流れを定着させる。必要な語彙等を教室に掲示するなど、教室環境を整備する。短文章を書く機会を多く設ける。</li> <li>③傍線で色分けしたり、接続語に着目したりして、短い文章から要点を見つける練習をし、長い文章に移行する。</li> </ul>

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>①資料を正確に読み取る、それを適切に表現する。複数の資料から関連付け考える。</li> <li>②地図を適切に読むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①授業で資料の読み取りを丁寧に扱い、推察したり考えをまとめたりする学習を行う。特色・工夫・問題点等を文章でまとめる機会を多く設ける。</li> <li>②見方や記号を習熟し、地図を用いた作業を十分に繰り返す。</li> </ul>

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>①日常の事象を数理的に捉え、見通しをもち筋道を立てて考察する力</li> <li>②計算力の向上</li> <li>③図形の特徴の正確な理解</li> <li>④データの活用に関する多面的なものの見方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①考察する場面では、少人数のグループ活動をさせ、全体で共有し、多様な考え方に触れさせる。</li> <li>②計画的で多面的な繰り返し計算練習を行う。</li> <li>③具体物に触れる機会を多く設定する。コンパスや三角定規等、道具の性質や特徴を正確に理解させる。また、その性質が作図にどう生きるのか考えさせる。</li> <li>④数値の移り変わりに気付くよう多様なデータの表し方に触れ、多角度から資料を検討できるような工夫をする。</li> </ul>

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
理科	①自然や生き物とのかかわりに関心をもち、友達と情報交換する力 ②既習の内容や生活体験を基に、根拠のある予想や仮説を立てる力 ③観察・実験に関する基本的な技能と器具・用具の使い方	①自然や生き物とのかかわりに関心がもてる環境を整える。また観察・実験の視点を与え、友達の気づきに触れる機会を作る。 ②単元や授業のはじめに、学習内容に関する既習事項や生活体験を確認する。また、予想や仮説を立てる際に、それらを想起させ根拠となるよう支援する。 ③観察・実験の手順やポイント、器具の使い方を黒板に掲示し、毎時間確認する。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
生活	①視点をもって活動し、見つけたことや気付いたことを、比べたり例えたりして周りの人に伝える力 ②見つけたことや気付いたことを、文章や絵、動作化など、自分なりに表現する力	①観察や活動の際に、見る視点・活動のねらいを具体物や絵カードを使って提示し、理解したうえで取り組ませる。また、良い例示を見せ表現活動が広がるよう、繰り返し同じ学習方法で取り組む。 ②多様な表現の仕方を体験させる。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
音楽	①楽しく活動しながら音楽表現に必要な基礎力 ②音楽表現を工夫したり、音楽を味わって聴いたりする力 ③生活や社会の中の音楽と豊かに関わり、音楽に親しむ力 ④表したい音楽表現をするために必要な技能	①常時活動、ペアやグループ学習を通して、音楽の基礎基本を身に付けるようにする。 ②表現を聴き合ったり、考えを交流したりする活動を行い、友達の感じ方や考え方から自分の考えを広げられるようにする。 ③学習していることを自覚できるように、教師が評価し価値付けていくようにする。 ④スモールステップ、個別、ペア学習等で技能を高める。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
図工	①楽しく活動しながら、自分の思いを膨らませ、工夫して表現する。 ②自分の思いを、材料や道具の使い方を工夫して表現する。 ③自分や友達の作品の良さや美しさを感じる。	①②児童の実態や興味に合わせた題材設定。基本的な道具の扱い方の指導の徹底。児童が自分の思いに自信をもって活動できるような声掛けや机間指導。既習事項を掲示・確認するなどして、児童が幅広く思いを広げられるようにする。 ③めあてを意識した鑑賞活動にするとともに、日常的に良いもの、美しいものに気付く声掛けや環境作りをする。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
家庭	①取得した知識や技術を、生活の中で活かそうとする実践的な態度。	○習得した知識や技術を生活の中で活かそうとする機会を設け、実践的な態度を育てる。 ○授業時には、家庭生活での具体的な場面を示し、実践しようとする態度を育てる。実習後の振り返りで、家庭で活かしていこうという記述をほめ、全体に共有する。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
体育	①友達と教え合いながら学ぶ。 ②自ら課題を見つけ運動する。 ③体力を高めるよう努力する。	①グループやチーム単位での学習を基本とし、互いに教え合い高め合える環境をつくる。 ②今の自分の力を知り、その力を伸ばすために何をすれば良いのか、具体的な方法を提示していく。 ③学習カードを使ったり、短縄月間に全校で取り組むなど、興味・関心をもって体力向上に取り組めるよう工夫する。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国際	①英語に関心をもち、楽しくコミュニケーションしようとする。 ②簡単な語句を用い、身近なことや気持ちを伝えることができる。 ③学んだことを使い、英語で表現することができる。	①アクティビティやゲームを通し、楽しみながら英語表現を学べるようにする。 ②個人・ペア・全体等様々な形態で繰り返し発話する機会を多くする。また、日常生活で必然性のある状況を設定する。 ③ただ楽しむのではなく、有用な目標や場面設定を工夫し、具体的な場面に即した英語を使った活動を工夫する。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
道徳	①自分や友達の道徳的価値観を認め、広げる力 ②普段の生活や自分のことに置き換えて考える力	①教材・題材の導入の工夫、自分の考えをもつ時間の確保、友だちとの意見交流の場、発問内容や数の厳選 ②主題や登場人物を自分ごととして捉える課題設定の工夫

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
特別活動	①主体的に話し合いに参加し、課題の解決に積極的に関わろうとする。	①話し合いの手順や考え方の出し方、相手の考えを受け入れることの大切さを指導する。話し合いについて振り返る場面を設定し、次回に生かすようにする。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
総合的な学習の時間	①見通しをもって学習に取り組む。 ②集めた情報を意図や目的に合わせて整理・分析する。 ③当事者意識をもって課題解決に取り組む。	①事象から広がる自分の考えを見える化したもの(チャート等)を工夫する。 ②常に発表(ゴール)を見据えて、情報集積・整理・分析をしていくことを指導する。 ③解決方法について選択肢を用意し、選べるようにする。常に自分や家族、地域に立ち返って考えるよう支援する。